



国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2015-2016

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急REIホテル

☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00

役員 会長：青木建雄 幹事：荻田倫也 会報委員長：堀 豊

4

つのテスト

●真実かどうか

●みんなに公平か

●好意と友情を深めるか

●みんなのためになるかどうか

第1593回 例会 平成27年10月26日

卓話 「米山奨学金について」

高木委員長

今週の歌 「我等の生業」

先週内容

次 会長挨拶

青木会長



さて本日は、国際ロータリー第2660地区第2組、立野純三ガバナーをお迎えしましたの正式訪問日であります。先ほど別室で、懇談会を持たせていただきまして、今年度会長・幹事、5大奉仕理事が出席致しまして、立野ガバナーよりいろいろと地区の方針・現況に

つきまして、お話を伺うことが出来ました。後ほど執り行われます卓話の時間にて、立野ガバナーよりいろいろとお話があるかと存じます。ご指導のほどよろしくお願い致します。また先週金曜日にはグルメ同好会が開催され、初めて参加しました。西区堀江の「やきやき三輪」にて、鉄板焼きを賞味いたしました。クラブから14名の会員の出席があり、懇親も深まりました。阿部幹事よりお誘いをいただき初参加いたしましたが、今後も時間さえ合わせられれば是非とも行きたいと思わせる楽しい会でした。ありがとうございました。

次 幹事報告

荻田幹事



前年度最終ガバナー月信13号が届きましたので、お配りしております。ご覧ください

ロータリー財団月間

次週 第1594回 例会予告 平成27年11月9日

卓話 「ロータリー財団について」

佐藤 会員

ゲスト 親睦委員会 清水委員

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー
立野 純三 様
メーキャップとして、吹田ロータリークラブ
大枝 正人 様



立野ガバナーも職業奉仕が大事とおっしゃられておりますので、この職業奉仕がテーマの炉辺談話にぜひとも皆様のご参加をお願いします。

出席報告 山岡委員長



- 会 員 数 48名 ●来 客 2名
- 出席会員数 43名 ●本日の出席率 95.56%
- 9月14日の出席率(メーキャップを含む)100%

米山記念奨学会委員会 高木委員長



中込会員、小川会員、石崎会員、佐藤会員、矢倉会員より、特別寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

国際奉仕委員会 木田委員長



2016 年ソウル国際大会のご案内です。大韓民国ソウルで、2016 年 5 月 28 日(土)～6 月 1 日(水)の 4 日間にわたり開催されます。最大割引(\$ 440→\$ 310)の事前登録の締め切りは 12 月 15 日です。また、今年度はソウルの地で「地区(大阪)ナイト」を行う予定です。概要が決まりましたら皆様にご案内いたしますので、たくさんのメンバーの方々のご参加をお願いします。

野球同好会 清水会員



第 27 回 2015～2016 年度 第 2660 地区ガバナー杯争奪軟式野球大会 結果報告
第 1 戦 10 月 18 日(日) 西宮市ビーコンパークスタジアム 対大阪うつぼ RC 戦

チーム名	一	二	三	四	五	六	計
大阪うつぼ	2	4	1	1	0	3	11
吹田西	0	0	2	0	2	0	4

職業奉仕委員会 橋本(徹)委員長

11 月 6 日(金)の炉辺談話が雅屋から木曾路江坂店へ変更となりました。本日お越しの



今年度のガバナー杯、4度目の優勝をめざし張り切って臨んだ初戦でしたが、3回までに7点を奪われる苦しい展開で、打線も良い当たりが正面を突くなど振るわず、反撃も4点止まりで、4対11で完敗致しました。

参加初年度に強豪八尾東に完敗して以来の大敗でした。敗因はやはり練習不足です。相手チームは良く練習していました。その差がくっきり出た試合でした。

しかし優勝がなくなった訳ではありません。残り試合を全勝し諦めず優勝を目指し、立野純三ガバナーよりガバナー杯を受け取るべく頑張りたいと思います！

次戦は25日(日)サントリー球場にてAM9:00より、くずはRC、八尾RCとのダブルヘッダーです。引き続き応援の程よろしくお願ひいたします。

ニコニコ箱

小林 S A A



◆青木会長：

立野純三ガバナーをお招きして。

◆荻田幹事：

立野ガバナー、よくお越し下さいました。

◆木下会員：

またゴルフの話です。先週10月17日土曜日、千刈カントリークラブの11番ホールで、ホールインワンしてしまいました。近々記念品を準備します。

◆大藤会員：

立野ガバナーをお迎えして。昨日の野球、ぶち壊してしまい申し訳ございません。

◆橋本(徹)会員：

ガバナー杯野球、ボロ負けでした。今日、身体が動きません。

◆伊藤会員：

野球、ボロ負けでした。すみません。

◆清水会員：

立野純三ガバナーをお迎えして！野球はボロ負けしました。すみません！

◆辻会員：

涼しくなったりの今日この頃です。皆様体調をくれぐれも崩さないように過ごしていきましょう！

◆堀会員：

急な話で恐縮ですが、皆様にご愛顧いただいた雅屋を閉店することになりました。11月6日の炉辺談話にもご迷惑をお掛けして大変申し訳ございません。

◆高木会員：

米山月間での欠席、申し訳ありませんでした。

◆新井会員：

ガバナー訪問ありがとう御座います。御指導よろしくお願ひいたします。

◆宮川会員：

立野ガバナー公式ご訪問、ご苦労様です。ご指導よろしくお願ひします。

◆西村会員：

立野ガバナーをお迎えして。

◆瀧川会員：

立野ガバナーご苦労様です。

◆渋谷会員：

立野ガバナーをお迎えして。

◆榎原会員：

立野ガバナーをお迎えして。

◆橋本(芳)会員：

立野ガバナーをお迎えして。

◆紙谷会員：

立野ガバナーをお迎えして。

◆井伊会員：

立野純三ガバナーをお迎えして。本日はよろしくお願ひ致します。

- ◆毛利会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆尾家会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆坂口会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆河邊会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆本田会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆小林会員：
立野ガバナーをお迎えして。
- ◆木田会員：
立野ガバナーをお迎えして。

本日までのニコニコ箱 421,491 円
 本日のニコニコ箱 79,000 円
 累計のニコニコ箱 500,491 円

卓 話

「第 2660 地区ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー
 立野 純三 様



皆さん、こんにちは。2660地区本年度ガバナーを仰せつかっております立野です。宜しくお願ひ致します。

吹田西ロータリーには、日頃何かと地区事業・運営に対してご協力をいただき有難うございます。本年は、新井さんにはガバナー補佐として、私を全面的にサポートして頂いております。木田さんには国際奉仕委員会、紙谷さんにはロータリー財団委員会、それぞれに出向していただき活躍をしていただき感謝しております。それでは、まず最初に私がこの1月にガバナー

としての研修に参加しましたアメリカ サンディエゴで開催されました国際協議会の初日の晩餐会で、ラビンドラン RI 会長が熱い思いでお話をされた本年度 RI 会長テーマを5分程度にまとめました映像をご覧いただき、その後私が本年度方針の中で7つの重点項目を掲げておりますが、その中から吹田西ロータリーで参考になればと思う項目をお話させていただきます。最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のビデオをご覧いただきたいと思ひます。

皆さん、今ラビンドラン RI 会長が熱い思いで語られているビデオを見て頂きましたが、どのように感じられたでしょうか。私はサンディエゴでお話をお聞きした時は、本当に感動しましたし、ロータリーに対する考え方に共感致しました。

本年度のRIテーマは『世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world』2660地区の方針は『変革を！ロータリーと通じて奉仕(プレゼント)を！』です。吹田西ロータリー青木会長は、本年度基本テーマを『奉仕を通じて親睦を』とされ、特に地域住民の方に「ロータリーの奉仕活動」を広く理解していただく事業を考えておられます。

具体的には、クラブ内の親睦を深める家族移動例会の実施、地域に根差した事業として、江坂大池小学校で「食育」をテーマに実施、地域の小中学校への出前事業並びに職場体験の実施を予定されています。また国際奉仕活動も、友好クラブと共同プロジェクトを予定されておられます。各種の奉仕活動と親睦に素晴らしい成果が上がることを願っております。

さて、本年、私は地区方針の中で重点項目を7つ掲げておりますが、その中の一つとして戦略計画委員会を各クラブにぜひ本年度中に立ち上げて頂きたいとお願ひしております。貴クラブも前向きに検討しますとお返事を頂いております。ここで、少し戦略計画委員会に対する私の考えをお話させていただきますが、これは何もクラブへの強制ではありません。あくまでも参考ということでお聞きいただければ結構です。

まず、皆さんが新入社員として入社したかった会社、入社を目指した会社を思い出していただきたいと思います。新入社員として入りたくなる会社とは、私が思うに、会社に魅力がある、堅実に成長している、業界で光っている、オンリーワンである、仕事が楽しそう、そして給料がいい等、様々な理由があると思います。いま、私達のロータリークラブは、他のボランティア団体よりも新入会員が入会したくなるだけの大きな魅力があるのでしょうか。そこで、各クラブに戦略計画委員会を立ち上げていただき、魅力があり、活力があふれる楽しくクラブライフを過ごせるクラブにするためには、具体的にどのような計画を立て、一年一年確実に実行していくかを中長期ベースで考えて頂きたいと思っています。

ロータリーは単年度制です。毎年、RI 会長テーマ、地区ガバナー方針、クラブ方針がその年ごとに変わり継続性がありません。もちろん単年度制は、その年ごとの会長が特徴を出せるいいところがありますが、一年で結果を出すことが出来ない重要なテーマに取り組むには単年度では弊害があると思います。重要なテーマは各クラブによって違うでしょう。年ごとに進み具合をチェックし、目標としているテーマを達成するまで継続していただくことによって、内部から見ても楽しく活力があり、外部からみても魅力のある素晴らしいクラブにしていく必要があると思います。青木会長は、会員増強に力を入れ、例会を今以上に活性化をし、出席率100%を堅持したいと考えておられます。

私は、入会を促進する取り組みにおいて重要となるのは、ロータリーの DNA を重要に考えることだと思います。DNA は決して変わらないロータリーに対する価値観、優先事項（出席率、財団寄付等）奉仕への献身を絶対に忘れないことだと思います。また、ポール・ハリスが創立した時の目的を大切にすることでもあります。時代に即するために妥協して、大切なロータリーの DNA をあっさり捨ててしまうと組織は長続きしません。変えてはならないところを変えてしまい、信じる土台がなくなれば組織、ロータリーの存在価値はなくなります。

しかし、一方で時代の変化と共に、変えなければならぬところもあると思います。

イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンはかつて『生き残るのは強者でも賢者でもなく、最も変化に適応できる者だ』と述べています。これは生き物だけでなく、組織にも当てはまります。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンは『理想を失うときにはじめて老いがくる』と言っています。変化や革新は年齢に関係なくフレッシュな視点をもった人から生まれるものであり、こうした人こそクラブにとって最も貴重な資産だと思っています。あるロータリーの小冊子に書かれていた文章ですが『ロータリーの目的は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある。ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。どんな職業でも仕事でも、たいがい他人の役に立っています。他人の役に立たないようなものは有益な職業ではありません』と書かれていました。また、ラビンドラン RI 会長が先程のスピーチの中でも言っておられましたが『当組織を形づくった基礎に立ち返る方法を見つける必要がある。それは人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして各クラブの会員の多様性をもたらす職業分類です。これらは会員増強の足を引っばる障害にすぎないとみられています。しかし、これらはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば自らの存在を危うくるす』と言っています。

ラビンドラン RI 会長の言葉、小冊子の文章は、会員増強、会員の質を考えておられる青木会長にとって、参考になる文章ではないかと思います。吹田西ロータリーが、内外からみて魅力があり、活気があり、楽しそうであれば、おのずと人は集まってくると思います。この様なクラブ作りの為にも戦略計画委員会の立ち上げを検討していただき、貴クラブの課題を解決していただきたいと思っています。

私が所属しております大阪ロータリークラブも、前年度に戦略計画委員会を発足させ、この5月には全会員にアンケートを実施しました。アンケートの内容は「大阪ロータリークラブの適正な会員数は?」「大阪ロータリークラブの将来は?」「例会は楽しいか?」等でした。約70%程度の回収率でした。今、このアンケート結果に基づき、戦略計画委員会で、今以上に大阪ロータリーの魅力を増すために検討していくテーマを決めていき、実行してクラブを変化させなければならないと考えています。私は良い意味でのクラブ間の競争と差別化がおこると思っています。クラブに会員を引き付けるだけの魅力、クラブ独特の個性や他のクラブとの違いが鮮明に出ていなければ存続が危うくなるでしょうし、そのような時代がすぐ近くに来ているような気がします。そして、既にロータリーの会員増強もゼロサムの世界になっているのかもしれない。どこかのクラブが会員を増やせば、一方のクラブは会員を増やすことが出来ず、会員減という結果になると思います。ぜひ、内外から見てもベターなクラブライフを楽しめるクラブ作りをお願いします。



私は、今年の7月から公式訪問を始めまして、多くのクラブを訪問させていただきました。そして、全てのクラブで例会前の約1時間程、会長、会長エレクト、幹事、その他の役員の方々と懇談会をさせていただき、クラブの問題点や地区に対する要望などをお聴きして、質問や要望にお答えをしております。その中で多くのクラブから、「クラブ財政が逼迫しておりどうすればよいか」というお話をお聞きします。私は、本年度の地区方針の中に改革を取り上げています。ここ数年、地区予算は赤字です。皆さんの会社で年頭に、予算計画を立てる時に赤字予算を組まれるでしょうか。少しでも赤字

が出ないように予算計画を組まれると思います。ここ数年地区予算は、地区のメンバーがピークの時の5700名程おられた時と、現在の3600名程の時と大きく変わっていません。その当時と今では経済的な背景が大きく変化しています。私は、まず本年度の2660地区の会員数をもとに収入予想を立て、それに見合った支出を各委員会にどう配分するのかを考えました。また、各地区委員長、副委員長と面談をして、いま各委員会が行っている事業内容が時代にあっているのか等、十分に意見交換をさせていただくと同時に、地区の現状の懐具合を理解してもらいました。また、事業がスタートした時の成り立ち、意義、目的が現在のロータリーに合わない事業は、一旦中止をしてもらい時代に合った事業内容に変更していただく等、各委員長にはご無理をお願いしました。そして、ご理解をいただく事によって委員会予算を削減する事が出来ました。また、地区事務所の皆さんにも地区の現状をご理解いただき、事務所運営費を含めて単年度黒字化を達成する目途が立ちました。

私は、年度が始まってからは、各クラブに負担のかかる事業はやるまいと思っています。あくまで、ロータリーはクラブが主体です。クラブが思っておられる様に運営をしていただき、楽しく活性化していただければと思います。地区はあくまでもクラブのサポート役と考えています。今まで地区は決算時に、赤字補填の為に繰越金を取り崩してきました。繰越金は赤字補填の為に使うのではなく、緊急の災害援助や地区の未来の新しい夢のあるプロジェクトのために使うべきではないかと思っています。

ここで、すでに何度かお話をしておりますが、私の国際奉仕の原点といえますか、興味をもたせてくれたきっかけについて少しお話をさせていただきます。

私が大阪青年会議所時代に、何か奉仕活動を通じて国際的な社会貢献をしたいと考えていた時に、国際婦人福祉連盟の有志の方々のお誘いを受けて1986年、世界的NGO団体セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立に携わりました。自分のライフワークとして18年間にわたりこの団体の理事長を務めさせていただきました。

このプログラムを利用すれば、世界各地でレンタカー、ホテル、レストラン等の割引を受けることができます。ただし、割引を利用できるのは、繰り返しますが、マイ・ロータリーに登録した会員のみとなりますので、ぜひ登録をして活用して下さい。そして、新入会員勧誘の時に、ロータリーに入会すればこのような特典があることをアピールして下さい。もしわからないことがあれば、地区広報委員会に問い合わせをいただければ、ご説明をさせていただきます。

それでは最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のビデオをご覧ください。今回は従来の地区大会と違って、少し変則的な開催となります。一日目は、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から始まり、晩餐会はリーガロイヤルホテルの宮川シェフが大阪産の旬の食材を使いおもてなしをさせていただきます。エンターテイメントとして、日本が誇る「関西二期会」によるウィンナオペレッタ 喜歌劇「こうもり」をお楽しみいただきます。二日目は、11時から世界的に活躍する若きアーティストのヴァイオリニスト庄司 紗矢香さんとピアニスト小菅 優さんの「夢のデュオ・コンサート」が開催されます。ぜひロータリアンの皆さんをはじめ、お子さん、お孫さん、ローターアクト、インターアクト、ご友人の方々、多くの方に素晴らしい演奏をお聞き頂きたいと思っております。メインの特別シンポジウムは“究極の職業奉仕”「関西発のイノベーション—最先端研究から創薬へ」のタイトルで、大阪大学 岸本名誉教授、京都大学 本庶名誉教授、お二人による基調講演を開催致します。

尚、地区大会のご案内では申込締切日を9月30日としておりますが、10月末日まで追加申込をしていただけます。どうか、晩餐会・コンサート・本会議・特別シンポジウムにふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に、吹田西ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念しまして、公式訪問を終わらせていただきます。有難うございました。



くくクラブ俳句同好会く

第三百三十六回句会

兼題 「秋の声」「柿」及び当季雑詠

納骨の本山詣秋の声

あきら

正座して墨刷りをれば秋の声

ときよし

夕照や枝葉押しつけ山の柿

くみこ

ありなしの風の小径や秋の声

みかよ

届かぬを鳥に任せて柿の秋

山牛

「今後の予定と兼題」

第337回句会

平成二十七年十一月九日

兼題 「神渡し」「おでん」出句は七句